



「希望・創造・友情」 あふれる学校

# すずかぜ

都立花畑学園

第1号

R7/4/7 発行



花畑学園の学校だより

## 令和7年度「ときめく」花畑学園のスタートです

校長 永島 崇子

令和7年度がスタートしました。

令和7年4月1日付定期異動では、教職員57名(育児休業復帰含む)が新たに加わりました。この花畑学園で教員生活の第一歩を踏み出す初任者は16名です。至らぬ点は多々あろうかと思いますが、特別支援教育に携わりたい熱い思いを持っております。副校長も新たに大友昭彦(おおともあきひこ)を迎えました。教職員全員が気持ちを新たに花畑学園の教育活動を創出し、指導・支援していく所存です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、東京都では都立学校でのAIの本格的な活用がスタートします。昨年度も、この第1号で「ときめく」についてお話させていただきましたが、AIはどのように答えてくれるのでしょうか?『「ときめく」とは胸がドキドキしたり、わくわくしたりするような感情を表す言葉です。何かに魅了されたり、新しいことに期待感を抱いたりする時に使われます。例えば美しい景色を見た時や、好きな音楽を聴いた時に「心がときめく」と感じるがありますよね。あなたにとって「ときめく」瞬間はどんな時ですか?もし何か好きなことや感動した出来事があれば、教えてください!』これがAIの回答ですが、最後の「教えてください」が特長なのだと思います。ここで、その次の返しを入れると更に、詳細な回答を出してきます。このやりとりを繰り返してAIは学びを深め、半年後にはもっと成長した回答を出してくれるのだと思います。もちろん間違った答えも出してくれるので注意が必要です。

学びを深めることはAIだけでなく、私たちの教育活動にもつながることだと改めて思います。子どもたちの成長はゆっくりだと感じられるかもしれませんが、学校生活を送る中でお友達や教員とのやりとりをとおして一人一人の心身の中で醸成されて、伸びる瞬間を待っています。そのためには、日々の基礎的な学びを大事にしていくこと、一人一人に合わせた言葉かけ、環境整備といった様々な要素を整えながら、教育活動をすすめていきたいと思えます。

この一年が児童・生徒の皆さん、そして保護者の皆様、地域・関係諸機関の皆様にとっても実り多くなるよう努力してまいります。御理解御支援をよろしくお願い申し上げます。

